

取組名称	『男性×スカート』～ジェンダーレス社会を目指して～
団体名	飯田女子高等学校
代表者氏名	小林桃実
地区名	上郷地区（飯田女子高等学校所在地）

取組みの目的	<p>○男性がスカートを履くことへの理解を深めてもらい、持って生まれた性差を大切にするとともに、誰もが一番心地いいと感じる服装を堂々と楽しめるジェンダーレスな社会の実現を目指す。</p> <p>○飯田市の風景を背景に撮影を行うことで飯田市の魅力的なスポットを紹介する。</p>
具体的内容	<p>○写真展の開催、およびジェンダーレスファッションを特集した出版物を発行する。</p> <p>○実際にスカートを履いたモデルに、スカートを履いてみての感想や、ジェンダーレスについてインタビューをする。</p> <p>○展示を見に来てくださった方々がどのくらいジェンダーレスについて関心を持っているかを調査する。</p> <p>○これらの活動から男性がスカートを履くという新しいファッションに触れてもらう。</p>



説明

撮影した写真



説明

撮影した写真



説明

撮影の様子



説明

写真展の様子

取組の経過	<p>5月20日 パネル・出版物制作のための出版社との打ち合わせ</p> <p>5月21日 石川かおりさんへのヒアリング</p> <p>6月 7日 コーディネーターさんとの打ち合わせ</p> <p>7月29日 男性モデルの衣装合わせ</p> <p>9月 8日 撮影①</p> <p>9月11日 撮影②</p> <p>9月18日 撮影③</p> <p>9月22日 撮影④</p> <p>10月9日～23日 丘の上結スクエアにて写真展開催（写真集配布・アンケートの実施）</p> <p>11月5,6日 Sバードにて展示</p>
取組の効果	<p>○写真展や写真集を通して、男性がスカート履くという新しいファッションに触れてもらうことができた。</p> <p>○新聞・ラジオ・テレビなど多くのメディアに取り上げてもらって、自分の行なっている活動を多くの人に知ってもらうことができた。</p> <p>○写真展や写真集を通して、飯田市の魅力を発信することができた。</p> <p>○アンケートの結果から、ジェンダー問題は周囲の環境が強く影響していると感じた。</p>
今後の取組	<p>○スカートの下にズボンを履いたファッションだけでなく、男性も素足でスカートを履けるようなファッションの提案をする。</p> <p>○男性に焦点を当てたジェンダーレスだけでなく、女性に視点を当てたり、世界のジェンダー問題に焦点を当てたりと、幅広いジェンダーレスを考える。</p> <p>○ジェンダーレスだけではなく、SDGsをはじめとする様々な社会問題を解決するためにはどのような活動をすればよいか考える。</p>

○取組経費（単位：円）

	事業費総額（見込み）	121,000
	うち助成金（見込み）	121,000
主な経費内訳 （上位3項目）	写真集印刷	56,000
	パネル印刷	40,000
	写真集・パネルデザイン	20,000
	その他	5,000

取組名称	黒田人形を通しての地域活性化
団体名	飯田女子高等学校人形劇クラブ
代表者氏名	熊谷果奈
地区名	飯田市上郷飯沼

取組みの目的	クラブ活動の中で伝統人形浄瑠璃である黒田人形に触れ、担い手の不足が問題として挙がっていることを知った。申請事業は、地域の伝統人形浄瑠璃である黒田人形を私たちの得意とする活動を通じて、伝統人形浄瑠璃を地域内外の方、特に若者に興味を持っていただき、伝統芸能の継承と後継者不足の解消に役立ちたいと考えている。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○黒田人形保存会黒田人座にご指導・ご協力をお願いし、地域の伝統人形浄瑠璃を学ぶ。 ○技術不足と人数不足の解消のために保存会とクラブの共同による演目を目指す。 ○クラブ員が三味線に挑戦し、更に幅を広げていく。 ○交流の機会を増やすことで、黒田人形をより手軽に・身近に触れてもらう。



説明 文化祭にて展示・説明



説明 津田塾大学との交流会



説明 飯田人形劇フェスタ代替公演



説明 伊賀良小学校との交流会

取組の経過	<p>7月2～4日 文化祭にて人形、活動内容、黒田人形についてまとめ展示 7月16日 津田塾大学との交流会 8月 4日 飯田人形劇フェスタ代替公演（本校にて公演） 12月11日 伊賀良小学校との交流会</p>
取組の効果	<p>津田塾大学飯田プロジェクトの皆さんにお越しいただき、交流会を行った。練習風景と公演の見学や、黒田人形にも触れていただいた。 7月には文化祭にて展示、8月にはいいだ人形劇フェスタの代替公演を行った。（招待者は教職員・生徒・保護者に限定。） 12月には小学校での黒田人形ワークショップを開催し、人形の持ち方から動かし方までを教えることで、黒田人形とはどんなものかという認識・理解を確立することができた。 高校生である私たちが飯田市無形文化財である黒田人形を地域内外の方々に発信していくことで、黒田人形について興味を持つきっかけ作りに貢献することができた。今年度の活動によって黒田人形に触れる機会を設けることで、担い手を育成し、保存・継承を進める人材が少しでも増えたらと考える。</p>
今後の取組	<p>今後はより活動の幅を広げていきたい。初の試みとなる小学校でのワークショップを通して、キャリア教育にもつながると評価していただいたことで、公演よりも体験会の方が気軽に触れることができ、怖い・難しいなどの先入観なく、そして楽しく学んでくれることを知った。よって今後も小学校・福祉施設等で発表・体験会の機会をより増やしていきたい。また、津田塾大学などの高大連携を通して発表の場を更に増やすことで、伝統人形劇の継承は勿論、地域への貢献の可能性を広げ、多くの方の協力のもと発展していくための活動ができたらと考えている。また、このような伝統人形浄瑠璃に触れ、学び、挑戦をしていく中で、今度は自分自身で黒田人形の継承を進めていきたい。</p>

○取組経費 （単位：円）

	事業費総額（見込み）	89,364円
	うち助成金（見込み）	89,000円
主な経費内訳 （上位3項目）	イベント用Tシャツ代	8,780円
	黒田人形保存会への指導費	60,000円
	公演道具のレンタル代	10,000円
	三味線の糸	10,584円